

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 026	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 経膈採卵（OPU）による後継牛生産を広げるために	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 供卵牛の負担が少ない採卵方法に経膈採卵（OPU）があり、畜産技術センターでは、性選別精液を利用して後継牛生産が可能な技術が開発されている。 その技術を県内酪農家に普及し、優良後継牛の確保、牛群改良の促進を図るため、フィールドでより成功率を高める手法の検討や、事前処理・受卵牛の確保・移植等を地域の酪農家や獣医師と連携して行えるシステムの構築を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 新技術（OPU）を用いた効率的な後継牛確保対策		
対応の内容等	当所では、H27年度より新規課題として「新技術(OPU)を用いた効率的な後継牛確保対策」に取り組んでいます。ご要望の「フィールドでより成功率を高める手法の検討」はこの中で対応していく予定です。また、連携システムについては、普及指導課の協力も得ながら、情報収集していきたいと考えています。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			